

フィナンシェ
ひとつ分
集まった支援金



“お菓子を笑顔届けたい”

大津波の被害を乗り越えてがんばる、 加工場のお母さんたちに厨房機器をお贈りしました



『工房めぐ海』さんにおやきを焼くための岩手の名産“南部鉄器”の鉄板を寄贈しました



『マリンマザーズ吉里吉里』さんに、かりんとうを揚げるフライヤーを寄贈しました



「皆さんの、おかげさま・・・感謝忘れない」



アンリ・シャルパンティエでは、阪神・淡路大震災で被災した際にたくさんの方に助けていただいた経験から、「スマイルフォー東北ーFROM芦屋」プロジェクトを立ちあげ、お菓子を通しての東北支援を続けています。2012年4月より販売しておりますチャリティー商品「スマイルフォー東北ーFROM芦屋」は、フィナンシェをあえて1つ減らした、フィナンシェとマドレーヌの詰合せで、ひとつ分を寄付金に充てさせていただいています。皆様よりお預かりしております寄付金を、活用させていただきましてのご報告いたします。

※NPO法人「ソウルオブ東北」を通して寄贈しています。



『工房 めぐ海』岩手県陸前高田市広田町

岩手県内で最も被害が甚大であった陸前高田市。『工房めぐ海』さんは、地域おこしのために地元の食材を使ったお菓子“おやき”をつくり、販売していました。工房をオープンしたわずか4カ月目に起きた震災の津波で建物もレシピもすべて流れ、仲間の1人も亡くなりました。もうだめかと諦めていた中、たくさんの人の支えで被害を乗り越え、2012年8月に再びスタートさせました。再開して以来、ホットプレートでおやきを焼いていたところ、岩手の特産“南部鉄器”でできた鉄板をお贈りしました。



村上豊子さん〈代表〉からのメッセージ

「1日平均200～300個、多いときで800個程おやきを焼いています。みなさんにご支援いただいた鉄板が来てからは、作業時間が半分くらいになって、本当に助かっています。おかげさまで…。最近では、遠方の方へ送りできるまで注文が増えました。震災があって、皆さんの支えによってここまで来れましたし、人の温かさが身にしました。震災後、自分の一生をかけてやると覚悟を決め、私の夢が工房みんなの夢になりました。今は販路開拓が目標で感謝の気持ちを忘れずに、皆さんや地域の人たちにお返ししていきたいと思っています」



「焼き心地もいいし、こんがり焼けるのでおいから違いますね。みなさんの、おかげさまで。」



『マリンマザーズ吉里吉里』岩手県大槌町

『マリンマザーズ吉里吉里』さんは、震災以前にワカメの養殖業を営む漁師の妻10人が集まって結成したチームで、ワカメの茎や芯の部分を使った加工食品を製造・販売していましたが、震災により加工場が津波で押し流されました。結成直後からつくっているお菓子“ワカメかりんとう”は、震災前は年間100個程度の売り上げでしたが、ここ1年で8千個を売り上げるまでになりました。十分な設備がなく、フライパンを使ってかりんとうを揚げていたところ、「スマイルフォー東北ーFROM芦屋」の寄付金の中からフライヤーをお贈りしました。

芳賀カナナさん〈事務局長〉からのメッセージ

「本当にありがとうございます。注文があっても追いつかなかったんですが、いただいたフライヤーのおかげさまで本当に助かって、みんなで喜んでます。嬉しいです。仕事のはかどり方が全然ちがいますよね。今までつくれなかった数がつくれて、売上があがって、働ける人が増えたらいいなと思っています。食べることは生活に密着するので支えになればと、かりんとうをつくり続けてます。「スマイルフォー東北ーFROM芦屋」のお菓子みたいに、今度は私たちのかりんとうが支援に繋がるように、続けていきたいです。買って、食べてもらうことでつながる支援のかたちはすごくいいですし、自分が誰かと関わっているんだと励みになります」



NPO 法人「ソウル オブ 東北」が実施された“シェフと山・里・海、産地連携プロジェクト”の支援活動に、「スマイルフォー東北ーfrom芦屋」でお預かりしております寄付金をお役立ていただきましたのでご報告いたします。



シェフと山・里・海、 産地連携プロジェクト

この企画（通称“シェフツアー”）は、岩手県内で東日本大震災とそれに関連する損害を受けた農畜水産業に携わる生産者を支援するため、生産者と料理人を結び、東北の食ブランディングを行うプロジェクトです。

第4回シェフツアー

2013.2.27 / 岩手県下閉伊郡岩泉町、田野畑村

- ・岩手宮古農協岩泉支所 - 短角牛
- ・志ろがねの牧 - 牛乳

岩泉町は宮古市田老町の北にあり、沿岸の小本地区が津波で大きな被害を受けました。幸い町の中心部は被害を受けませんでしたが、原発事故による風評被害で、農林水産物全般に影響が出ています。



短角牛肥育部会岩泉支部長 富山利勝さん



田野畑山地酪農牛乳「志ろがねの牧」吉塚公雄さん



第5回シェフツアー

2013.5.15 / 岩手県奥州市

- ・自然栽培（無農薬・無肥料）の稲作「阿部自然農園」
- ・6次産業 前沢牛「小形牧場」



前沢牛「小形牧場」小形守さん



「阿部自然農園」阿部知里さん

NPO 法人「ソウル オブ 東北」は、2013 年度はこの活動をさらに企業や一般消費者にまで広げ、広く消費につなげていく計画で、引き続き、実施される支援活動ごとに寄付させていただく予定です。

フィナンシェひとつ分から できる支援があります

私たちは、「スマイルフォー東北ーfrom芦屋」を通して、東北支援を続けています。
皆様よりお預かりした寄付金は、東北の食を守る支援団体 NPO 法人「ソウル オブ 東北」に寄付させていただき、支援活動にお役立ていただいております。
東北への支援は、まだまだこれからです。
ひとりでも多くの皆様の力と想いが必要です。これからも、東北支援のご協力を宜しくお願い申し上げます。

税込 ¥3,150 <フィナンシェ 15 コ、マドレーヌ 8 コ>
特定原材料等：小麦・卵・乳 / お酒使用
【販売期間】2013 年 4 月 1 日～2013 年 9 月 30 日
※本品は予告無く仕様変更、販売終了することがございます。

お問い合わせフリーコール
0120-917-215 <受付時間 9:00a.m.～5:00p.m.>
〒659-0065 兵庫県芦屋市公光町7-10-101
PC _ <http://www.hc-c.jp/henri>



東北
SOUL OF TOHOKU
東北の食を守ろう

NPO 法人「ソウル オブ 東北」(代表:岡部 泉)
<http://www.souloftohoku.org/>

Smile for TOHOKU -from ASHIYA-

ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げますと共に、被災地の一刻も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

これまでの支援活動と寄付金額 (累計) | **¥3,778,400** (※5月末時点)

- シェフと山・里・海の産地連携プロジェクト
 - 第1回支援金額 ¥212,240 2012.6.6 岩手県内陸部を訪ねて(羊・仔牛・ホロホロ鳥・フルーツマト)
 - 第2回支援金額 ¥124,300 2012.7.23 岩手県沿岸北部を訪ねて(天然ホヤ・ウニ)
 - 第3回支援金額 ¥169,620 2012.10.3 岩手県大船渡市を訪ねて(ホタテ・牡蠣)
 - 第4回支援金額 ¥286,824 2013.2.27 岩手県内陸部を訪ねて(短角牛・牛乳)
 - 第5回支援金額 ¥531,516 2013.5.15 岩手県奥州市を訪ねて(田植え・前沢牛)
 - 加工場へ厨房機器を寄贈
 - 『マリンマザーズ吉里吉里』様へ、“わかめかりんとう”用機器(ミキサー/フライヤー) ¥864,150
 - 『工房めぐ海』様へ、“おやき”用機器(ミキサー/グリドル/鉄板) ¥939,750
 - 定期支援金額 ¥650,000(1月～5月) *2013年1月より毎月¥130,000を寄付しています。
- ※過去の寄付金活用レポートは、アッシュ・セー・クレアシオンのホームページからご覧いただけます。

